

選挙の熱い声
をこぼしていきなさい



日本共産党北区議会議員
さがら としこ
区政レポート
2013.4.18.No.1130.
ご相談はお気軽に
TEL とも **3905-0970**
FAX
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)
日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/>

「安心して住めるまちをつくらせよう」と決意を語った、そねはじめ前都議



参加者から要望や期待の声、次ぎと

4月13日 春のつどい

◎よく晴れた、土曜の午後。桐中の4Fから、桐ヶ丘の風景が又見えました。

<左の写真> 桐ヶ丘中央公園の新緑の頃のスケッチ(政福永画)

そねさんは「まちづくりは建物をつくるだけでなく、
どうしたら、安心して住めるかを実現していくこと

ですと、病院建設とその後の拡充を求めるたたかひの重要性を語り
ました。この中、「南設から10年、まに地域医療の中心となっている。
これは、全国に誇れるこのまちの、住民運動の成果です。今このまちに
『家族といっしょに引っこきてきたい』という方もおられると、そねさん。

◎「患者のひとりです。視力が弱まっていて細かいことも、近くに病
院があり、窓口は私の名前もちゃんと呼んでくれます。だから安心です。」

◎「北社保病院を拡充させる会」の方からは、「そねさんと共に、これまでがんば
てきました。これからも、もっといい病院にしていきたい。明日は赤羽西口が宣伝日です。」

「在宅の介護、往診を以て看取りの方。
都営の1DKには介護ベッドも入れられ
ず、狭すぎます。そねさん、ぜひ改善を」

●桐ヶ丘団地診療所の事務張さんは、高齢化
が著しい地域の実情と患者さんのくらしを訴え、
「そねはじめさん、ぜひ、都議会でもがんばって下さい」と、
期待をよせました。

●また「リハビリをがんばっている患者と、病院
から追い出すことはやめてほしい」と、家族の方。

●年をとれば、あちこちと病気になる。医療
費がかさね、本当に大変。年金は削る、増税す
る、保険料は上げるなんて、許せないことだ。
医療費は無料の都政をつくらう、の声も。

<右の写真> つどい会場。オープニングの太鼓。
ハーモニカ伴奏で「花は咲く」の合唱もほめた。



物価上昇と消費税増税による負担増の年収に対する割合

「アベノミクス」は、許せません。
低所得者層を直撃する



年収階級分位	I	II	III	IV	V
2%の物価上昇	6万6119	7万4702	8万7079	9万8222	12万2392
10%への消費税増税	10万9165	12万9201	15万3167	17万7985	22万7859
負担額増計	17万5284	20万3903	24万0245	27万6207	35万0251
平均年収	338万	495万	624万	787万	1181万

(単位:円)
総務省「消費者物価指数」「家計調査」から試算

4月11日付「しんぶん赤旗」日刊、1めん記事より。
 ● 日本共産党の国会質疑の中で、2%の物価上昇で、平均的サラリーマン世帯の家計負担は、1年間で約9万円にもなることを明らかにされました。
 ● そこで「しんぶん赤旗」は、2012年総務省「家計調査」のデータをもとに、年収で5つの階級ごとの負担が、どれだけ増えるのかを試算しました。
 ● 巨大マスコミは、「アベノミクス効果」を書き添えてるだけ。「赤旗」ならぞです。

消費税増税を中止させよう。
4.29演説会で署名を集約します。

賃金引き上げで景気回復を! 憲法を生かした政治を!
日本共産党演説会

どうすれば暮らしに安心を取り戻せるのか。経済・外交……行き詰まった政治を打開する政策と展望を語ります。

4月29日(月・休日) 午後2時より
赤羽会館講堂



- お話し
- 党副委員長、政策委員長 **小池あきら**
 - 党東京部・雇用と就労対策委員、中野区東京選挙区 **吉良よし子**
 - 前都議会議員 **そねはじめ**
 - 党東京12区青年部長 **池内さおり**



春のつどい 後編

旧北園小で活動をつげています。
6月末まで出て行ってくれと言われても...

4月23日(火)
新婦人の皆さんのよびかけで、区教育委員会との話し合いが行なわれました。10時~旧北園小

● 小学校統合後は、旧北園小の校舎、体育館、運動場をフルに活用して、レクダンス、野球、ブルースカイの音楽活動、老人会の活動、新婦人の小组活動などなど、10年以上にわたって、多彩な活動拠点となって来ました。
また、当初は北区教育委員会ととも早稲田大学お茶の水女子との連携事業(国の助成があった)、つか劇団との専業展開などにも力を入れていました。しかし、その後、区教委は事業を次々と撤退させ、施設運営はNPOの住民組織中心に切りかえて、予算は今年度、大きく削減されました。

新たな活動場所の確保もまだ。卒業生のタイムカプセルは? これから、特養ホームなどをつくる方針も、具体化はこれからです。